# F SPORT PARTS (TRD)

# ＭＳ２１３-１１００１／２／３／４
# ２１インチ・鍛造アルミホイール
## 取付・取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)２１インチ・鍛造アルミホイールをお買い上げ頂きありがとうございます。
開封時に必ず構成部品があることをご確認下さい。本書には上記品の取付要領と取扱について記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

■品番・適合

| | | |
|---|---|---|
| 品　番 | ＭＳ２１３－１１００１／３ | アルミホイール（２１インチ　８・５Ｊ） |
| | ＭＳ２１３-１１００２／４ | アルミホイール（２１インチ　９・５Ｊ） |

**※F-SPORT グレード以外の車両への装着は、別途 F-SPORT 用純正センターキャップが必要となります。**
**＊F-SPORT 用純正センターキャップ　品番：42603-53110**

■構成部品

| | 部品名 | 品番 | 数量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ① | ディスクホイール | ＭＳ２１３－１１００１／３ | 1 | 21X8.5J　in20 120.0 - 5H(FR 用) |
| | | ＭＳ２１３－１１００２／４ | | 21X9.5J　in20 120.0 - 5H(RR 用) |
| ② | TPMS 用グロメット | ４２６３５－３５０１０ | 1 | TPMS エアーバルブは再使用します。 |
| ③ | 取付・取扱要領書（本書） | | 1 | |

■取扱上の注意

⚠警告（１）本品を適合車種以外には使用しないで下さい。破損や故障により重大な事故を招く恐れがあります。
⚠警告（２）車両への取付作業は平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキを掛けて行なって下さい。不安定な場所での作業は重大な事故を招く恐れがあります。
⚠警告（３）車両のハブボルトを良く点検し、錆、劣化のある場合は新品と交換して下さい。そのまま使用した場合、破損や緩みにより重大な事故を招く恐れがあります。
⚠警告（４）車両への取付の際は指定トルクに従って確実に締付けて下さい。取付時に締付トルク不足があると徐々にゆるみ、ホイール破損や脱落等、重大な事故に繋がる場合があります。
⚠警告（５）車両へ取付後、直進状態及びステアリングを一杯に切った状態でタイヤがボディーやブレーキホースに干渉していないことを確認して下さい。干渉している場合は購入先へ連絡して下さい。
そのまま使用しますと破損や故障の原因となり、重大な事故を招く恐れがあります。
⚠警告（６）急発進、急制動、急旋回等の無理な走行や乱暴な運転はお止め下さい。本商品に過剰な負担が掛かり、損傷、故障の原因となるばかりで無く、重大な事故を招く恐れがあります。
⚠警告（７）本品装着後に事故や衝突等で、ホイール・サスペンションに強い衝撃を受けた場合は、変形や破損を生じている場合がありますのでご使用を中止し、レクサス販売店にて点検を受けて下さい。
そのまま使用になりますと、重大な事故や故障の原因となる場合があります。
⚠警告（８）本品への加工、改造は絶対に行なわないで下さい。重大な事故や故障のを招く恐れがあります。
⚠警告（９）走行中に異常な振動や異音を感じたら、直ちに安全な場所に停止してレクサス販売店にご相談して下さい。
そのまま走行を続けますと、重大な事故や故障を招く恐れがあります。
⚠注意（１）本品の交換・取付作業は必ずレクサス販売店で行なって下さい。その他の場所での交換、取付作業は商品の破損や重大な事故を招く恐れがあります。
⚠注意（２）本商品到着後、直ぐに本体の損傷、付属品が全て揃っている事を確認して下さい。タイヤの組付け作業時や車両取付け後に発覚したキズ・変形等のクレームには応じられない場合があります。
⚠注意（３）他社製品による改造個所がある場合、本商品本来の性能を充分に発揮出来ない場合があります。
⚠注意（４）本品の取付・交換の際は必ず当該車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行って下さい。誤った取付は商品の破損や重大な事故・故障に繋がる場合があります。
⚠注意（５）装着直後はナットが緩む場合があります、１００Ｋｍ程度の走行後に締付トルクの確認を実施して下さい。
⚠注意（６）本品は保安基準適合商品ですが、他社商品との組合わせによっては保安基準に適合しなくなる場合があります。
⚠注意（７）本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管・取扱い・使用条件によっては商品や車両に重大な損傷を招く恐れがあります。
⚠注意（８）上記事項と本書の装着手順をお守り下さい。取付作業や走行に伴い車両本体、又は本品が破損した場合のクレームには応じかねます。

Racing Development TRD

# （取付取扱要領１）

【装着前に】

## １．ホイールの確認

**■ホイールはサイズ・穴数・P.C.D・インセット・取付面形状・取付ナット座形等が装着する車両に適合している事を確認して下さい。なお、左右には同サイズ同銘柄のホイール・タイヤを装着して下さい。又、装着車に対しホイールの荷重値が不足している場合も装着は出来ません。**

⚠警告 左右毎に異なるサイズ・銘柄のホイールを混用すると操縦性・安定性が失われます。

## ２．タイヤの確認

**■標準サイズのタイヤから、径・扁平率が異なるタイヤに変更する場合は標準タイヤのロードインデックスを下回らないようにご注意下さい。**

⚠警告 装着されるタイヤのロードインデックス及び空気圧が下回っている場合、タイヤ破損の恐れがあります。

**■ホイールにタイヤを装着する場合、リム幅にあったタイヤを選択して下さい。**

⚠警告 リム幅に対して極端にタイヤ幅が狭い場合、ビード落ちやホイールの破損に繋がる場合があります。

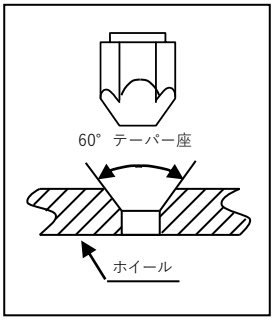
**■タイヤ装着後、空気圧の確認を実施し、冷間時に自動車メーカー、タイヤメーカーの指定する空気圧に調整して下さい。扁平率の低いタイヤの空気圧不足は見た目では分りづらい為、日常点検を実施して下さい。**

⚠警告 空気圧の不足はタイヤ負荷能力の低下、異常発熱等を起こし、タイヤの破損に繋がる恐れがあります。

## ３．ナットの確認

**■取付ナットは装着する車両のネジ径・ピッチを確認の上、必ずナットの座の合った物を使って下さい。ホイールの取付ナット座は、テーパー座、球面座、平面座等の種類があり、本品のナット座は６０°テーパー座を採用しております。**

⚠警告 ホイールのナット座と異なる座形状のナットは絶対に使用しないで下さい。
形状が異なると十分な締付けが出来ず、走行中に外れる事があります。




## ４．エアーバルブの装着

■車両のホイールから外した TPMS エアバルブを再利用して取付けて下さい。

⚠注意
- **TPMS 用グロメットは、必ず同梱の物に交換して下さい。**
- TPMS エアバルブを取付ける際は、修理書を参照して下さい。
- TPMS を取外した際は初期化が必要となります。初期化に関しては修理書を参照して下さい。

## ５．タイヤの組付

**■タイヤの組付の際は必ずタイヤ潤滑剤を使用して作業して下さい。**

⚠注意
- タイヤ組付けの際は、TPMS を破損しないように十分注意下さい。

**■指定空気圧の充填はタイヤのビードがリムのビードシート周上に均等に載っている事を確認した上で行なって下さい。**

⚠警告 タイヤ組付時の空気充填は破裂の危険を避ける為、タイヤを安全囲いの中に入れる等、安全策を講じた上で行なって下さい。破裂等により重大な事故を招く恐れがあります。
空気充填後にタイヤとリムの勘合部、エアーバルブ周辺より空気洩れが無いか確認して下さい。
洩れた状態で走行を続けますとタイヤ・ホイールを損傷する等の危険があります。

**■タイヤ組付後はバランス調整を実施して下さい。**

⚠警告 バランス不良は車両の振動や安定性を損ない、タイヤ偏磨耗の原因となる場合があります。

## ６．車両への装着

**■ナットはトルクレンチを用いて指定トルクで締付けて下さい。**

⚠警告 締付けの不足・過多は座面の変形、緩みや外れの原因となります。
確実な締付けを実施して下さい。
インパクトレンチは絶対に使用しないで下さい。
車両ハブとホイールの間にスペーサー等を絶対に入れないで下さい。
ホイールの正常な機能を妨げると供に、ハブボルト破損等の危険があります。

| 指定トルク |
| --- |
| １４０N・m |

Racing Development TRD

# （取付取扱要領２）

【装着後に】

## １．装着後の確認

**■車両装着後、直進状態・ハンドルを左右一杯に切った状態で車体、サスペンション、ブレーキホース等に干渉していない事、タイヤが車体からはみだしていない事を確認して下さい。**

⚠警告 車体各部との干渉はタイヤ破損、ブレーキフルード洩れ等、重大事故の危険性があります。
タイヤがはみだした状態での一般道の走行は法令で禁止されています。

## ２．装着後の走行

**■装着直後は、約１００ｋｍ走行後にハブナットの締付けトルクの確認を実施して下さい。**

⚠警告 走行中に異常な振動、音を感じたら安全な場所に停止し取付ナットを確認して下さい。
そのまま走行を続けますと破損、脱落等、重大な事故を招く危険性があります。

**■舗道縁石、路面の大きな凸凹への乗上げはホイールの変形や亀裂を生じる場合がありますのでご注意下さい。**

⚠危険 舗装路の小さな段差でも速度が速いと受ける衝撃が大きくなる為、安全な速度に落として通過して下さい。
タイヤ・ホイールに変形や損傷を引起す事がありますので道路の縁石との接触・乗上げ、チャターバー(キャッツアイ)への乗上げ、凸凹路の高速走行は避けて下さい。衝突の回避等でやむをえず前記の状況となった際は、レクサス販売店にてホイールの点検を受けて下さい。
そのままご使用になられますと、割れや亀裂の発生原因となります。

**■急発進、無用な急制動、急旋回はタイヤ・ホイールの変形に繋がりますのでお止め下さい。**

## ３．日常点検及び手入れ

**■ハブナットの締付け状態、空気圧は必ず車両のご使用前に確認して下さい。**

⚠警告 ナットの緩みは脱落、空気圧不足は衝撃吸収性が低下しタイヤ・ホイールを痛める原因となります。

**■海辺や雪道走行後は、柔らかい布を使い水洗いを行ない、水分は完全に拭取って下さい。**

⚠注意 塩分や泥が付着したまま放置しますと表面の光沢にムラやシミが発生する場合があります。
市販のホイールクリーナーはホイール、キャップ等を侵す事がありますので、説明書を良く読んでからご使用して下さい。

⚠注意 スポンジやコンパウンド、高速洗車機の使用はホイールを傷付ける事になる為、お止め下さい。

## 【その他の注意事項】

## １．センターキャップの取付け

**■センターキャップは叩き入れないで、手で押込んで下さい。衝撃を加えると破損の原因となります。**
**センターキャップはレクサス F-SPORT 用純正センターキャップをご使用下さい。**

## ２．修理について

**■ホイール修正業者及びご自身による歪みの修理や塗色変更等の加工は絶対に行なわないで下さい。**

⚠警告 修理、加工を施しますと強度が低下し空気洩れや破損に結び付き、重大事故となる場合があります。

## ３．保管について

**■タイヤ・ホイールの保管は洗浄後に十分乾燥させ、直射日光、雨、油分が付着せず、高温多湿の場所を避けて保管して下さい。**
**空気圧を使用時の半分に下げ、重ねて置く場合はタイヤ同士が直接触れないように干渉材をはさんで保管して下さい。**

**■長期間の保管後に再使用する際には、レクサス販売店で各部の点検を実施してご使用下さい。**

⚠注意 タイヤとホイール意匠面が接触した状態で保管しますと、変色する場合がある為、ご注意下さい。

## ４．補給品について（単品交換時）

**補給品（新品）アルミホイールの意匠面は、お使いのホイールを一部交換し比較した場合、ツヤ感や色味などに差異が生じる場合がございます。ご承知おきください。**

Racing Development TRD